

国際交流ひろば



日本の韓国ブーム 3 訪韓ラッシュを 主導する 20歳代の女性

アンニョンハセヨ！鳥取市国際交流員の張日榮（チャン・イルヨン）です。今回は韓国を訪れた日本人観光客の現地での行動について、具体的に紹介したいと思います。

韓国ではなくソウル

二〇〇〇年に韓国を訪問した日本人観光客は二百四十七万人

でした。その中、二十代の女性が一四・九%で一位を占めています。次が五十代の男性が一四・八%、四十代の男性が一三・八%、三十代の男性が十



“ソウルの銀座”といわれる「明洞地区」

訪問地はソウルが七七・九%、釜山が一七・二%、濟州島が七・四%、韓国民俗村が七・一%、慶州が七・一%でした。これは厳密に言えば、日本人の訪韓ラッシュは「韓国観光ブーム」ではなく、「ソウル観光ブーム」だと言えるでしょう。

お土産はキムチ

では、ソウル市内で日本人に人気のあるスポットはどこでしょうか。同社の調査（複数回答）によると、明洞地区が五八・九%、南大門市場が五八・七%、東大門市場が一・二%、宮殿が二五・五%、梨泰院地区が二三・一%でした。明洞地区、南大門市場、東大門市場のいずれ

も一・二%でした。

訪韓した日本人観光客の訪問地は、日本各地の航空便が集まるソウルに集中しています。韓国観光公社の「二〇〇〇年外国人観光客実態調査（複数回答）」によると、日本人観光客の

もショッピングスポットです。つまり、訪韓する日本人の主な目的はショッピングであることが分かります。このことは、日本人観光客の韓国内での活動に関する同社の調査（複数回答）でもショッピングが七十四・四%と、はつきりと数値にも現れています。

ところで、訪韓した日本人の観光客の半分以上はお土産としてキムチを買っています。同社のショッピング品目別調査（複数回答）によると、キムチが五七・四%、のりが三八・一%、衣類が三一・六%、革製品が二九・七%、香水・化粧品が二七・七%の順で、キムチ、のりなど、食べ物がお土産として一

番人気があるのがわかります。

滞在日数の割に・・・

それでは、日本人観光客は韓国でどのぐらいお金を使っているのでしょうか。訪韓した日本人（個人旅行）の支出額（航空運賃を除く）は千二百三十三ドル（約十二万円）でした。訪韓した外国人全体の平均（千二百九十五ドル、約十五万円）よりは少ないのですが、日本人観光客の韓国での滞在日数（平均二・八日）が外国人観光客全体の滞在日数（平均五・六日）の半分であることを考えれば、支出額は決して少なくないでしょう。

はじめまして！ イザベル・ハーターです

8月から、鳥取市役所企画課に国際交流員として勤務していますイザベル・ハーターです。出身はドイツ南部のモース・ヴァイラーという小さな村です。



（スイスに接するボーデン湖のほとりの村）

仕事では、鳥取市とドイツ・ハーナウ市の記念すべき姉妹都市提携に携われることを大変うれしく思います。また、講演会やさまざまな交流会を通じて、たくさんの市民のみなさんと交流を深めたいと思います。

ドイツについての質問など、気軽に声をかけてください。

企画課文化国際係（☎20 3154）